



うさぎぐみだより



2024年3月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ



少しずつ春の足音が聞こえてきました。先日はお忙しい中、クラス懇談会にご参加いただきありがとうございました。早いもので、うさぎ組での生活もあと一か月となりました。身のまわりのことを自分でやろうとする姿が増えています。また、友だちの名前を呼んだり、自分の思いや気持ちを言葉で伝えようとしたりと、この一年間の子どもたちの成長の早さにびっくりしています。

2月は気温の低い日が多く、室内での活動が中心となりました。ホールで巧技台やマットの登り降り積極的に楽しんだり、梯子、鉄棒なども挑戦したりしました。また、りす組やこぐま組の友だちと過ごす機会が多くあり、こぐま組の友だちのやっていることをじっと観察して真似をし、りす組の友だちには優しく接し異年齢での交流もたっぷり楽しむことができました。今月は、進級への期待をもちながら残りの1階のお部屋での生活を十分に楽しめるようにしていきたいと思えます。



ひな人形作り

保育者が何かを始めると、何が始まるのかと興味をもって周りに集まってくる子どもたちです。ひな人形作りのときも「じぶんもやりたい」と、集まってきました。色画用紙にマジックでお絵描きをして着物を作りました。「ぴんくがいい」「あおがいい」「あかがいい」など、好きな色を選んでいました。そしてお雛様とお内裏様の目と口をシールで貼りました。最後にのりで冠、扇、尺、烏帽子を貼り完成させました。それぞれ自分の完成したひな人形を手にもち「かわいい〜」と、満足気でした。ひな祭りの日にお持ち帰りします。お家でも飾って楽しんでくださいね。



～そうくみさんありがとう～

うさぎ組「かわいい〜」と、そう組さんにはたくさん遊んでもらい面倒を見てもらいました。お世話になったそう組さんへ感謝の気持ちを込めてうさぎ組でもお花を作りました。ピンクのお花紙を丸めて花びらに見立てた輪の中に詰めて一輪の花を完成させました。お別れ会で渡したいと思えます。



～もうすぐ、こぐま組～

こぐま組への進級に向けて2階で過ごす機会を作っていきます。こぐま組のお医者さんごっこのおもちゃをとっても気に入っているうさぎ組の子どもたちです。こぐま組になったら毎日遊べるのがわかったら大喜び、間違いなしです。3月の下旬にクラス移動があります。こぐま組での生活に慣れていきたいと思えます。

